

番号	57	有田川改修竣工記念碑 伊万里市長 竹内通教書		
所在地	伊万里市二里町中里甲 金武橋左岸側			
災害別	昭和23年(1948)水害			
目的別	記念碑	建立年	平成5年8月	
特記事項				



伊万里市二里町の金武橋の左岸側の国道脇に有田川改修竣工記念碑が建立されている。昭和23年9月11日の水害では、豪雨に加えて有田町の大谷溜池の決壊により、有田川の水かさが一気に増し有田川流域では大きな被害が生じた。

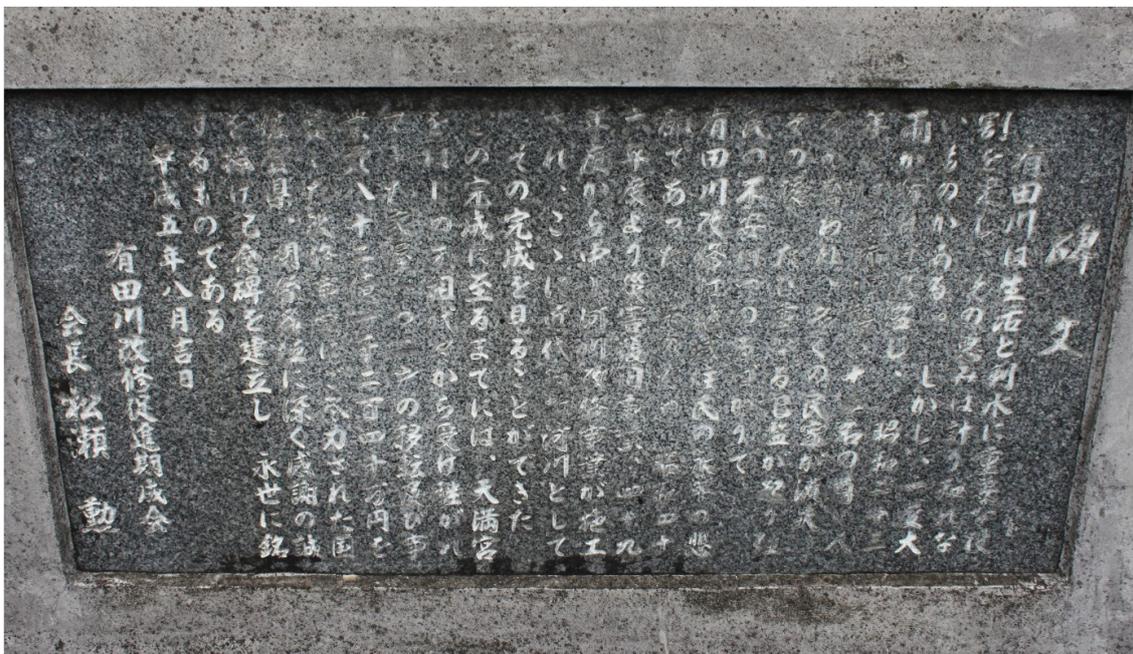
「有田川は生活と利水に重要な役割を果し、その恵みは計り知れないものがある。しかし、一度大雨が降れば氾濫し、昭和二十三年には濁流が襲い十二名の尊い人命が奪われ、多くの民家が流失 その後 たび重なる氾濫が起り住人の不安はつるばかりで、有田川改修は地域住民の永年の悲願であった

そのため昭和四十六年度より災害復旧事業、四十九年度から中小河川改修事業が施工され、こゝに近代的な河川としてその完成を見ることができた。この完成に至るまでには、天満



国土地理院電子国土 Web

宮をはじめ先祖代々から受け継がれてきた家屋一〇二戸の移転及び事業費八十二億一千二百四十万円を要した改修事業にご尽力された国佐賀県、関係各位に深く感謝の誠を捧げ記念碑を建立し、永世に銘するものである。平成五年八月吉日 有田川改修促進期成会 会長 松瀬 勲」



有田川左岸（下流方向）